

2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL https://www.saikaya.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山野井 輝夫
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 中野 宏治 (TEL) 046 (822) 8003
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	2,371	0.5	58	△2.2	31	△69.8	34	△65.9
2025年8月期中間期	2,360	△10.7	59	△10.4	103	78.5	99	105.3

(注1) 包括利益 2026年8月期中間期 36百万円(△76.4%) 2025年8月期中間期 153百万円(229.8%)

(注2) 2026年8月期中間期 売上高 2,371百万円 : 対前年同期比 100.5%

営業利益 58百万円 : 対前年同期比 97.8%

経常利益 31百万円 : 対前年同期比 30.2%

親会社株主に帰属する中間純利益 34百万円 : 対前年同期比 34.1%

前年度の経常利益には、固定資産受贈益70百万円が含まれているため、今期に比べ突出して高くなっています。

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	6.64	5.02
2025年8月期中間期	20.11	15.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	12,685	1,248	9.8
2025年8月期	11,894	791	6.7

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 1,248百万円 2025年8月期 791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	—	—	0.00	0.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	3.6	150	30.7	140	3.2	120	8.8	24.22

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2026年8月期通期予想 売上高 4,800百万円 : 対前年同期比 103.6%

営業利益 150百万円 : 対前年同期比 130.7%

経常利益 140百万円 : 対前年同期比 103.2%

親会社株主に帰属する当期純利益 120百万円 : 対前年同期比 108.8%

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年8月期中間期	5,970,314株	2025年8月期	4,970,314株
2026年8月期中間期	16,306株	2025年8月期	16,306株
2026年8月期中間期	5,120,674株	2025年8月期中間期	4,954,084株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年8月期に9期ぶりに黒字に転換、2025年8月期まで3期連続の黒字でのV字回復を達成いたしました。今期におきましては、引き続き「百貨店事業」「テナント事業」を重点的に推進するとともに、再生後の新たな企業価値向上に向け、「資本構造の健全化」および「配当再開の検討」をさし示すべく「資本構造の見直し」を行ってまいります。

資本構造の見直しにおいては、2026年2月26日の臨時株主総会にて決議した利益剰余金欠損の解消で今年度からの配当が可能となり、2026年8月期末としては5円の配当を予定しております。また、2026年2月6日開示の「第三者割当による新株式及び第1回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行に関するお知らせ」のとおり、親会社である株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスとEVO FUNDに第三者割当を行い、収益構造の改善を可能とする資金を調達するとともに、新株予約権の行使により流通株式時価総額が増加することから、スタンダード市場の上場維持基準(流通株式時価総額)への適合を見込んでおります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(百貨店事業)

百貨店ゾーンにおいては、横須賀店では、駅前のショッピングセンター横須賀モアーズシティと初めてのコラボレーションをおこない「YOKOSUKA chocolate festival」を2026年1月28日より共同開催いたしました。新聞折込チラシの共同制作をはじめ、各種販促策の共同企画により多くのお客様にご好評をいただきました。藤沢店においても「Chocolate Festival」を開催し、売場を大幅に拡大し、収益が増加いたしました。さらに、横須賀店3階では、2026年1月7日より「自分で選べる ガチャガチャランド」を開催し、連日多くのお客様にご来店をいただいております。会期を延長するほどの賑わいとなっております。また、9月17日に横須賀店の一部区画を取得したことにより、全区画が当社保有となり、年間4千万円超の固定費の削減を実現したことに加え、横須賀店において「株式会社ラウンドワンジャパン」が2026年初夏にオープンすることにより横須賀店の空き区画がすべて埋まり、オープン後の賃料収入増加とともに、来店客数の増加に伴う百貨店ゾーンの売上増加を見込んでおります。

以上の結果、売上高は2,367百万円(前年同期比100.5%)、営業利益は314百万円(前年同期比94.7%)となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、引き続きアパート事業など、着実に収益を上げております。

以上の結果、売上高は4百万円(前年同期比96.0%)、営業利益は1百万円(前年同期の営業損失は1百万円)となりました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績においては、売上高2,371百万円(前年同期比100.5%)、営業利益58百万円(前年同期比97.8%)、経常利益31百万円(前年同期比30.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産については12,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ791百万円増加いたしました。負債については前連結会計年度末に比べて、334百万円増加して11,437百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ456百万円増加して1,248百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年4月1日の「業績予想の上方修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、当第2四半期(中間期)の連結業績予想を修正いたしました。通期の業績予想につきましては、現時点では前回予想値を据え置いております。今後修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,255	1,561,161
売掛金	276,241	302,827
商品	180,487	155,006
販売用不動産	141,991	139,783
貯蔵品	68,249	67,128
その他	85,664	154,310
流動資産合計	2,186,889	2,380,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,416,479	2,589,852
土地	4,878,557	5,261,557
リース資産(純額)	289	—
その他(純額)	70,476	284,770
有形固定資産合計	7,365,802	8,136,180
無形固定資産		
ソフトウェア	28,666	25,771
無形固定資産合計	28,666	25,771
投資その他の資産		
投資有価証券	288,395	291,509
長期貸付金	15,000	—
敷金及び保証金	1,383,755	1,312,317
破産更生債権等	12,286	12,286
長期前払費用	563,322	538,964
その他	62,175	205
貸倒引当金	△12,270	△12,270
投資その他の資産合計	2,312,665	2,143,013
固定資産合計	9,707,134	10,304,964
資産合計	11,894,024	12,685,183

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	594,274	659,917
1年内返済予定の長期借入金	8,005,904	8,630,904
未払法人税等	17,127	17,468
契約負債	655,475	705,914
賞与引当金	16,091	15,253
株主優待引当金	1,535	2,401
その他	258,986	389,280
流動負債合計	9,549,394	10,421,138
固定負債		
長期借入金	647,632	19,680
退職給付に係る負債	219,589	211,534
役員退職慰労引当金	—	1,153
資産除去債務	270,127	272,446
繰延税金負債	2,703	3,657
その他	412,587	507,399
固定負債合計	1,552,639	1,015,870
負債合計	11,102,034	11,437,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	2,615,768
資本剰余金	1,860,578	1,860,578
利益剰余金	△3,227,104	△3,193,092
自己株式	△43,384	△43,384
株主資本合計	785,857	1,239,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,132	8,294
その他の包括利益累計額合計	6,132	8,294
新株予約権	—	9
純資産合計	791,990	1,248,173
負債純資産合計	11,894,024	12,685,183

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	2,360,072	2,371,457
売上原価	1,199,317	1,249,937
売上総利益	1,160,754	1,121,520
販売費及び一般管理費	1,101,186	1,063,267
営業利益	59,568	58,253
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,103	4,880
固定資産受贈益	70,473	14,252
受取手数料	324	310
ポイント調整費	1,890	—
その他	674	485
営業外収益合計	75,464	19,929
営業外費用		
支払利息	30,502	46,687
その他	685	116
営業外費用合計	31,187	46,803
経常利益	103,845	31,378
特別利益		
固定資産売却益	—	5,122
特別利益合計	—	5,122
特別損失		
事業構造改善費用	1,100	—
特別損失合計	1,100	—
税金等調整前中間純利益	102,745	36,501
法人税、住民税及び事業税	3,123	2,489
法人税等合計	3,123	2,489
中間純利益	99,622	34,012
親会社株主に帰属する中間純利益	99,622	34,012

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	99,622	34,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,517	2,161
その他の包括利益合計	53,517	2,161
中間包括利益	153,139	36,173
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	153,139	36,173
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	102,745	36,501
減価償却費	171,884	178,423
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,507	△837
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	865
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,528	△8,054
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	1,153
受取利息及び受取配当金	△2,103	△4,880
支払利息	30,502	46,687
固定資産売却損益(△は益)	—	△5,122
事業構造改善費用	1,100	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,011	△26,585
棚卸資産の増減額(△は増加)	△97,757	28,810
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,254	65,643
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,129	△4,597
未払費用の増減額(△は減少)	△16,032	5,819
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	25,073	80,472
契約負債の増減額(△は減少)	74,771	50,438
未収入金の増減額(△は増加)	—	△69,253
その他	37,754	6,010
小計	318,804	381,492
利息及び配当金の受取額	2,103	4,880
利息の支払額	△26,973	△60,173
法人税等の支払額	△5,512	△5,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,423	321,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△460,465	△568,081
無形固定資産の取得による支出	△200	△2,800
有形固定資産の売却による収入	766	5,122
差入保証金の差入による支出	△11,279	△10,406
差入保証金の回収による収入	1,287	15,104
長期前払費用の取得による支出	△80,509	△49,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,400	△610,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,907	△317
長期借入金の返済による支出	—	△2,952
新株の発行による収入	—	420,000
新株予約権の発行による収入	—	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,907	416,739
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△263,884	126,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,669	1,434,255
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,385,784	1,561,161

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、第三者割当による新株の発行の実施により、資本金が420,000千円増加し2,615,768千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年9月1日至2025年2月28日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,355,633	4,439	2,360,072	—	2,360,072
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	2,355,633	4,439	2,360,072	—	2,360,072
セグメント利益 又は損失(△)	332,217	△1,738	330,479	△270,910	59,568

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,910千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自2025年9月1日至2026年2月28日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,367,193	4,263	2,371,457	—	2,371,457
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	2,367,193	4,263	2,371,457	—	2,371,457
セグメント利益 又は損失(△)	314,714	1,677	316,391	△258,137	58,253

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,137千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社が発行した「第1回新株予約権」について、2026年3月9日から2026年3月31日までに権利行使が行われており、その概要は以下のとおりであります。

1. 新株予約権の行使個数 1,040個
2. 発行した株式の種類及び株式数 普通株式 104,000株
(2026年2月28日現在の発行済株式総数の1.4%)
3. 資本金の増加額 16,749千円
4. 資本準備金の増加額 16,749千円

3. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前中間期 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)		当中間期 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)		前年同期増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	対比 (%)
㈱さいか屋	2,360,597	97.1	2,371,982	97.9	11,385	100.5
アルファトレンド㈱	70,882	2.9	50,504	2.1	△20,377	71.3
㈱さいか屋友の会	600	0.0	512	0.0	△88	85.3
小計	2,432,080	100.0	2,422,999	100.0	△9,080	99.6
内部売上高の消去	△72,007	—	△51,541	—	20,466	—
合計	2,360,072	—	2,371,457	—	11,385	—

(2) 店別売上高(単体)

	前中間期 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)		当中間期 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)		前年同期増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	対比 (%)
藤沢店	903,852	48.1	952,528	49.4	48,675	105.4
横須賀店	662,077	35.3	652,372	33.9	△9,704	98.5
川崎店	311,337	16.6	321,490	16.7	10,153	103.3
小計	1,877,267	100.0	1,926,391	100.0	49,124	102.6
テナント及び手数料収入	483,329	—	445,591	—	△37,738	—
合計	2,360,597	—	2,371,982	—	11,385	—